

平成23年度第1回磐田市旧見付学校協議会報告

日時 平成23年6月16日(木)午後3時～5時

会場 磐田市埋蔵文化財センター研修室、旧見付学校

出席者 松野委員、兼子委員、望月委員、松本委員、松下委員、鈴木委員

欠席：藤田委員、高橋委員

事務局：飯田教育長、鈴木事務局長、山崎課長、早澤課長補佐、本間、田村

1 委嘱状交付

2 委員紹介

3 教育長あいさつ

4 会長・副会長選出

5 会長・副会長あいさつ

6 議事〔概要〕

(1) 委嘱状交付

出席委員6名に、教育長から委嘱状を交付。

(2) 会長・副会長選出

委員の互選により会長選出・・・鈴木委員より松下委員を会長への推薦

異議なし・・・松下委員を会長に

会長の指名により副会長選出・・・松本委員を副会長へ指名

(3) 平成22年度旧見付学校事業報告について

事務局より説明

入館者数、昔の授業体験、消防訓練、補正による修繕、入館者の意見等について

(質疑)

〔委員〕：入館者数ですが、少ない方から3番目とか、今年になって多い方から何番目とかいうことでしたが、多いとき、少ないときはどの程度かわかれば教えてください。

〔事務局〕：今まで、一番多かったのは平成13年度の24,031人、4月が特に多かったのは平成10年度の3,510人、去年は特に4月が1,951人と大幅減少していますが、今年度は3,150人と増えています。

〔委員〕：少ない時はどのくらいなんですか。

〔事務局〕：4月、一番少ないのは開館の翌年度、4年度で11,580人、5年度は2月1ヶ月休んでいましたが12,062人、6年度14,256人、7年度17,071人、8年度2万人突破の20,316人、その後しばらく2万人を突破していたが、12年度18,099人、13年度が最高の24,031人、その後増減を繰り返し、19年度の22,059人を最後に20～22年度と2万人を割っています。

〔委員〕：JRウォークのパンフレットは常設と目立つのがあるが、連携というか、載せてもらうのに何かシステムのものはあるのですか。もう一点、緋の着物のクリーニング代はいくらですか。

〔事務局〕：1着800円です。

〔委員〕：むかしの体験は何時間でしたか、3時間。

〔事務局〕：約2時間です。

〔委員〕：クリーニング代の予算が無いなら、半額とか参加者に負担をしてもらったらどうでしょうか。そう

すれば、倍とかできると思うんですが。

〔事務局〕：受益者負担という考え方もありますが、洗濯機を仕入れたのでボランティアの方にご協力をいただき、自分たちでやっていこうと考えています。JRウォークは毎年お願いしています。が、JRの都合ということもあります。

〔委員〕：入館者の増減は、団体客等外的要因に負うところが大きいのか、展示会をやったから増えたとか、その辺はどうでしょうか。

〔事務局〕：外的要因、やはり旅行会社の影響が大きいです。外からのお客様がいかに来て頂けるかにかかっています。

〔委員〕：私、裸祭りの保存会の方をやらせて頂いていまして、浜松や静岡の大手旅行会社にパンフレットを送ったが、1～2年は反応なく、3年目にJTBの子会社・ツーリズムというところ、東京からバスが来ました。浜名湖へ来るときに寄ってもらうとか、継続的な声掛け、呼び掛けしていくと、客も集まってくるんじゃないかと思います。

〔事務局〕：以前、館山寺温泉に泊まる方を誘致しようとしたのですが、磐田は通過地点で袋井・三山がメインという話を聞いたこともあります。裸祭りで人を呼んで頂いて、どのお客様も来て頂けたらと思っています。地域或いは商店街との連携は詰めていかなければと感じております

〔委員〕：JTBに3ヵ月前からPRをお願いする予定で、話を詰めつつあります。

〔事務局〕：よろしければパンフレットを同封していただければありがたいと思います。

〔委員〕：外国人の来館者は何人くらいいますか。

〔事務局〕：去年はブラジル22人、オーストラリア44人です。

〔委員〕：増えていますか。

〔事務局〕：変化はないというか、ホームステイで来る方がほとんどです。

〔会長〕：是非外国の方にも見て頂きたいが、地元の人にももっと出かけて頂きたいと思いますが。

〔事務局〕：旧見付学校への来館者には旧赤松邸記念館を紹介している。相互に行っています。

〔委員〕：楽しい文化展ではハーモニカ演奏等やってますが、見学者の来館は多いですか。

〔事務局〕：音楽を聴きに来られた方のほとんどは入館しています。

〔事務局〕：子供の作品展をやれば人が来る。

〔委員〕：増やすということは、人が増えるということであるが、見付の活性化の一つとして旧見付学校があるという風な捉えかたをされているんですか。

〔事務局〕：活性化のためにあるというよりも、東海道見付を歩いている方が見付学校があるということで立ち寄られると思います。

〔委員〕：何を言わんとしているかと言いますと、中泉も含め観光案客少なく、何とかしたいという気持ちがあり、商工、学校、連携少ないので、例えば軽トラ市で見付学校の宣伝をすとか、そういうことができないかと思ったものですから。

〔事務局〕：文化財課のみでは微力ですので、観光協会や商工観光課と連携して、PRをしていきたいと思えます。最近文化財メールによる情報提供を始めました。まだ十分ではないが、これを利用して旧見付、旧赤松へ足を運んで頂く仕組み、PRが大事だと感じております。

〔会長〕：持ちつ持たれつですね。鈴木委員さんいかがですか。色々呼びかけていただいていると伺っていますが。

〔委員〕：地元で語り聞かせしている。色々なことが伝わっていない。チャンスあればそういう時に説明してい

くということで作るしかないと思います。

〔会長〕：旧磐田市以外の地域の資料も集めて展示して、「うちのおじいさんの卒業証書出た」とそういうのを集めたらと思いますが。

〔委員〕：地元の学校へは語り聞かせで行っていますが、自分の街の事を知らない人が非常に多いと思います。チャンスがあれば私も話そうとはしていますが、夏休みにこういうこと（むかしの授業体験）をやっているのは、学校の先生は承知なんですね。

〔事務局〕：はい、校長会でも（報告しています）。

〔委員〕：竜洋地区からは少ないと思いますが、少しずつ浸透していけばと思っています。

〔委員〕：何年か前にも、3～4年生の町探検でマイクロバスを出していただけるシステムは難しいようでしたが、最近はどうなんですか。

〔事務局〕：行先5箇所のうち3箇所が文化財課の場合は文化財課で申請します。昨年の校長会で紹介しました。結構利用していただいています。

〔委員〕：各地区に郷土研究家さんがいますよね。ネットワークはあるんですか。

〔委員〕：あると思います。資料ないので、竜洋地区の今と昔の見所という資料を作って送った。各地区案内してくれる人はいるが、いなくても資料があればわかります。

〔委員〕：田原には歴史愛好家さんがいます。旧見付学校だけでなく、ネットワーク化して、ここでの話とは違うと思いますが、そういうこともあるのかなと思います。

〔委員〕：それなりのコース作ってあげればと考えています。半日、6時間くらいで回れるような所を。そこには見付学校、赤松家を入れてあげば。

（教育長、事務局長 所用により退席）

〔会長〕：修繕箇所など、この後時間があれば直接行っていただいて、次に本年度の事業計画を提案願います。

（4）平成23年度旧見付学校事業計画について

事務局より説明

旧見付学校授業体験、企画展示、旧見付学校ボランティアスタッフ等について

〔会長〕：授業体験の募集が、広報6月15日号に出ました。紺の着物で街を回ったりとかの企画がありました。

〔委員〕：貸し出した場合、洗濯して返してもらえますか。

〔事務局〕：この場合は、学校で洗濯します。洗濯を頂きましたので。

〔委員〕：傷んだ場合は。

〔事務局〕：学校で繕います。学校でも傷んだものは繕っています。これは、貸出しではなく、着て散策していただくということです。

〔委員〕：保護者さんも一緒にですか。

〔事務局〕：一緒に歩いて頂ければいいんですが。

〔委員〕：ボランティアさんに残念な説明の方がいます。チェックする人がいない。誰かの作ったものをコピーしてというケースがあり、学ぼうとする人が困る。私は自分で調べて作りました。前の方が調べたから正しいではなく、メンテナンスが必要。前の方のコピーでなく、自分の足で確認することも必要と考えます。旧見付学校は知らないが、そういうことが無いように心配しています。

〔事務局〕：研修で新たな情報や正しい知識を伝えていきたいと思います。

〔会長〕：展示は、（旧見付学校に）行って見ていただければと考えます。何か企画案があれば、この場でなく

でもお出しいただければと思います。

16:15 終了。終了後、旧見付学校に現地視察に行き、22年度修繕箇所の手摺・天井紙の確認と3階展示場の確認をしていただく。

17:00 終了、解散。